

「国際観光・MICE都市 横浜」のMICE拠点 パシフィコ横浜



1. 「パシフィコ横浜」の施設概要

- **会議センター**（開業：1991年）
 - …… 大中小 約50室の会議室
- **国立大ホール**（国立横浜国際会議場）（開業：1994年）
 - …… 東日本唯一の国立会議場、5000人収容
- **展示ホール**（開業：1期分1991年、2期分2001年）
 - …… 展示スペース20,000㎡
- **アネックスホール**（開業：2001年）
 - …… 1,350㎡のセミナールーム／6分割可能
- **ホテル**（ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル）（1991年開業）
 - …… 客室数600室

2. 「パシフィコ横浜」の実績

● 経営の実績

- ・2002年度以降10期連続黒字決算

● 営業の実績

- ・MICE施設としては、極めて高い施設稼働率
各施設ともに60%～70%を維持
- ・特に「会議系のコンベンション」に強さ発揮。
国際会議の開催件数、参加者総数 ⇒国内第1位
国内医学会(日本医学会110分科会)の開催件数 ⇒国内第1位

会議センター利用例



2010年6月 再生可能エネルギー2010国際会議



2012年6月 国際幹細胞学会第10回年次大会



国立大ホール利用例



2012年6月 国際幹細胞学会第10回年次大会



2012年9月 第4回世界創傷治癒学会連合会議



展示ホール利用例



2012年7～8月 ヨコハマ恐竜展2012



2011年10月 某企業スポーツフェスティバル



2012年5月 企業コンベンションパーティー



2012年3月 ジャパンインターナショナル
ボートショー

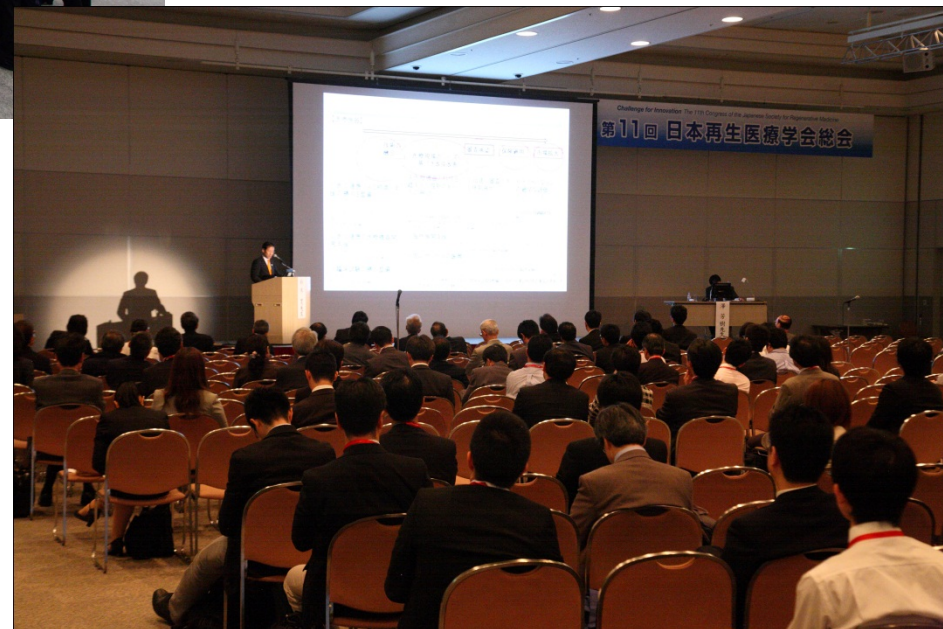
アネックスホール利用例



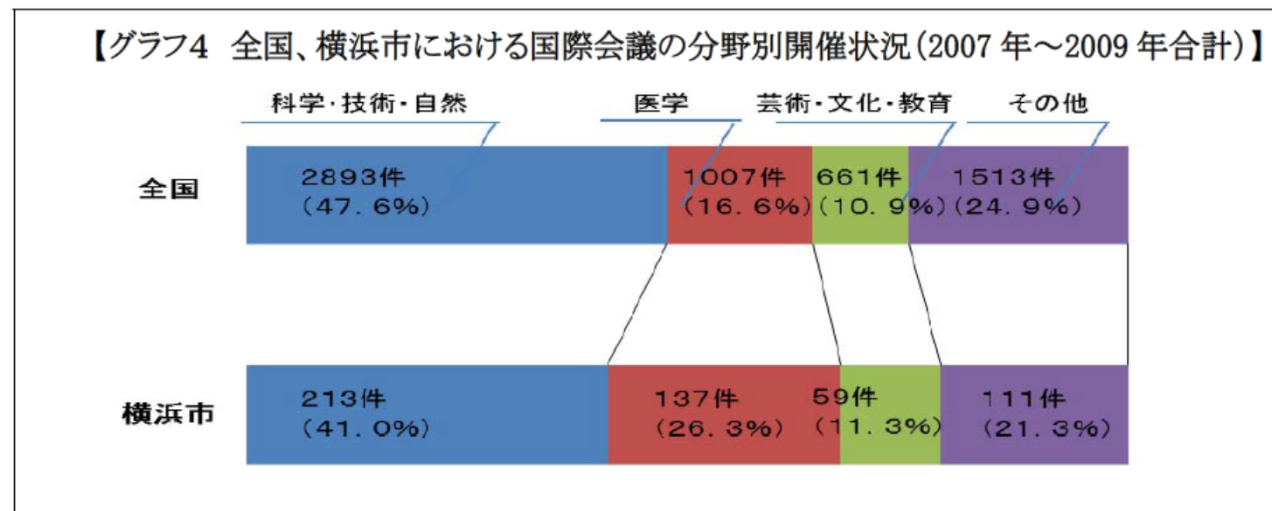
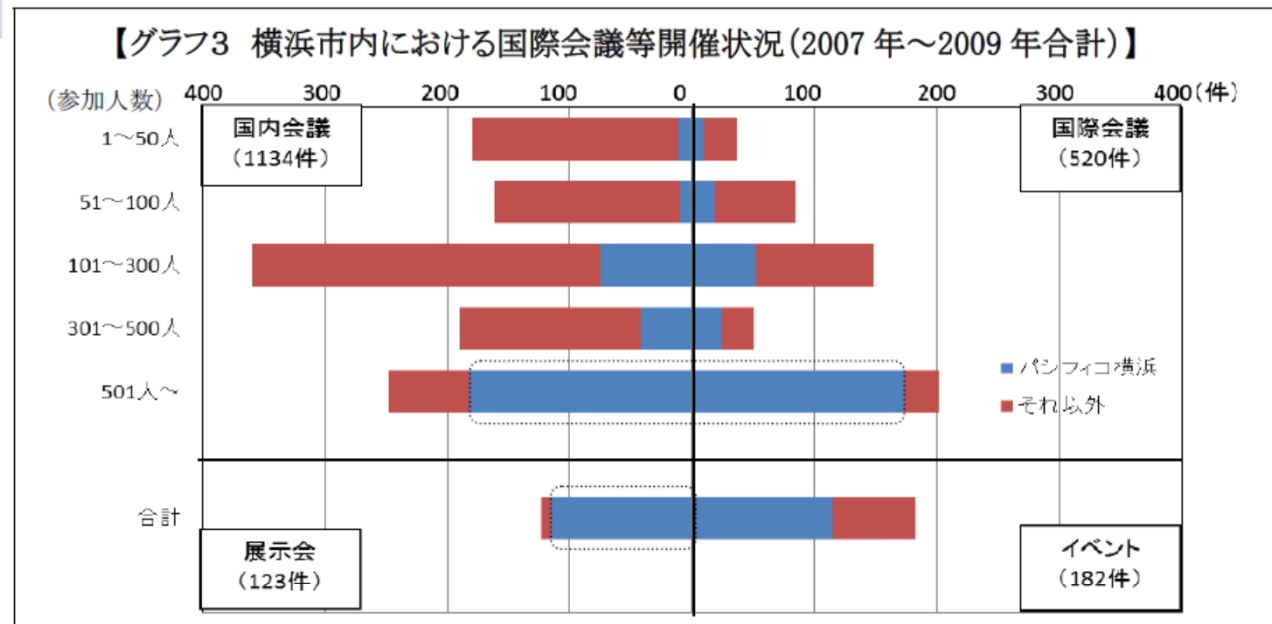
2012年6月 第11回日本再生医療学会総会



2012年6月 第11回日本再生医療学会総会



3. 横浜市内のMICE開催状況



4. パシフィコ横浜の実績と課題

実績及び評価	課題
<ul style="list-style-type: none">●日本有数のMICE施設。施設別国際会議開催件数、参加者数、医学系会議開催件数NO.1●会議センター・展示ホール・ホテルが「ALL IN ONE」の使いやすさ●開業20年の営業ノウハウ蓄積	<ul style="list-style-type: none">●稼働率が限界に近いことによる機会損失●大規模改修の時期を迎えている。●大型レセプション・パーティーに対応できる空間がない。●リピーターの開催規模拡大傾向

5. MICE機能強化の方向性

ターゲットの明確化	施設の機能拡充	都市の魅力づくり
<ul style="list-style-type: none">・医学・バイオをはじめとするライフイノベーション、IT関連・中・大規模の国際会議・既存の企業集積を活かしたMICEの開催	<ul style="list-style-type: none">・ALL IN ONEの施設の充実・展示会と会議の同時開催への対応・大型レセプションへの対応	<p>＜基盤＞</p> <ul style="list-style-type: none">・市内の回遊性を向上・まちづくりとの連携・質の高い人材育成 <p>＜取組＞</p> <ul style="list-style-type: none">・文化・芸術・エンターテインメントの取組(トリエンナーレ、ダンス・ダンス・ダンス、音楽祭)
<h3>MICE拠点づくりのあり方</h3>		
<p>利便性や規模メリットによる国際競争力確保のため、パシフィコ横浜の強みを活かした「配置」「用途・機能」「運営形態」による『魅力あるMICE施設の機能拡充』が必要。また、<u>国際競争力や企画力、提案力がある「運営主体」、公的資金の導入や官民連携手法などによる「経営の安定性・継続性」</u>についての検討が必要。</p>		